

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

120-381

事務事業名	勤労者協議会共催・後援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		包含する細々目	1	5	1	1	10	1	5,132
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市勤労者協議会	飯田市勤労者協議会会員数:人(平成18年度)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1660	1700		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	未組織を含む勤労者の地域横断的な組織である飯田市勤労者協議会との共催・後援事業を実施し、勤労者福祉の向上を図る	共催・後援事業実施回数:事業	18目標	7	最終目標	7
			18実績	7	19目標	
			23目標	7	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市勤労者協議会共催・後援事業に負担金を支出する	共済事業 ・市民菜園管理・運営 ・相談事業の実施 ・市民アンケート等の実施 ・JR駅前駐輪場の管理 ・文化レクリエーション事業の実施 後援事業 ・勤労者まつりの実施	共済事業参加者数:人 勤労者まつり参加者数:人	1,800
	18年度の実績			
	19年度計画	共済事業 ・市民菜園管理・運営 ・相談事業の実施 ・市民アンケート等の実施 ・JR駅前駐輪場の管理 ・文化レクリエーション事業の実施 後援事業 ・勤労者まつりの実施	共済事業参加者数:人 勤労者まつり参加者数:人	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,240	5,132
	事業費計(A)	5,240	5,132
人件費	正規職員所要時間	18年度 60	19年度 60
	臨時職員等所要時間	10	10
	人件費計(B)	225	225
	トータルコストA+B	5,465	5,357

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	勤労者のゆとりある生活の実現	ゆとりある生活ができたと感じる勤労者数:人(アンケートが必要)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 勤労者の地域横断的組織である飯田勤労者協議会へ補助金として支出し、現在は共催事業負担金となっている。	事業を取り巻く状況の変化 飯田市勤労者協議会の会員の高齢化が進んでいる	事業に対する市民や議会の意見
---	--	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 地域横断的な勤労者組織への活動支援は必要である	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 効果的な事業実施を働きかける必要はある
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 飯田勤労者協議会を対象としている。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 飯田市勤労者協議会の共催事業ができなくなる
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 地域横断的な勤労者組織とおとしての労働者福祉は必要である		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 類似事業はない
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 地域横断的な勤労者組織への共催事業は他にない		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 労働者協議会の事業の効率的な運営により事業費の削減は可能
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当でない (受益者とその理由) 地域の勤労者を対象としているが、会員数は多くはない

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 共催事業の見直しと負担金額の検討
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	飯田市勤労者協議会の理解

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	